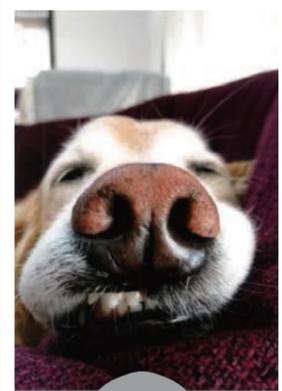


メディカルセンター 写真コンテスト結果発表!

第7回写真コンテスト入賞者おめでとうございます!!



ベッツアニマルクリニック瀬戸

特別賞



院長賞



スタッフ賞

松波動物病院メディカルセンター
〒467-0027
愛知県名古屋市瑞穂区田辺通 5丁目 2番 11
TEL 052-833-1111

ベッツアニマルクリニック瀬戸
〒489-0066
愛知県瀬戸市東横山町 92
パロー新瀬戸ショッピングセンター 1階
TEL 0561-89-7400



発刊責任者 松波 恒彦
松波動物病院グループ
名古屋市瑞穂区田辺通
5-2-11
発刊日：年4回
2018年4月 第67号

大切な家族を迷子にしないために

お散歩中に逃げ出してしまった、連れ去られてしまったなど、普段の生活をしていて予測しないことが起こったり、自然災害が起こったりした場合、多くの犬たちが迷子になる可能性があります。

飼い主さんと会えるまで、犬たちは極度の不安状態に置かれることと思います。愛犬と少しでも早く会えるよう、愛犬の身を守ってあげましょう!



メディカルセンター
トリマー
担当：井美 真理菜

狂犬病予防注射済票

自然災害時、避難所や動物救護所では、狂犬病の予防注射を受けていることがはっきりわからない犬は基本的に受け入れてもらえません。

狂犬病予防注射済票は愛犬の首輪などにつけておくようにしましょう!

※狂犬病予防注射は生後3か月以上のすべての犬に法律で義務付けられています。

犬鑑札

犬鑑札は登録番号によって飼い主を明確にするもので、常に犬の体につけておくことが法律で義務付けられています。

迷子札

犬の名前や飼い主の連絡先などを記載したものを鑑札同様つけておくといいでしょう!

チャーム型の可愛くておしゃれなものも増えています。

マイクロチップ

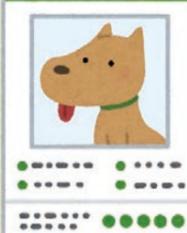
身元証明に使えるデータをマイクロチップに登録し、動物の体に埋め込みます。

専用のリーダーで読み取れば飼い主がすぐに分かります。

体の中に埋め込んであるので取れたりする心配がなく世界で広く使われています。



探しています



大切な家族の行方がわからなくなる・・・これほど不安なことはありません。

「うちの子は迷子になんかならない」「今まで大丈夫だったから問題ない」

そう思っている飼い主さんも多いでしょう。

何もないのが一番です、ですが、相手も生き物、絶対という言葉はあてはまりません。

迷子にさせないように気をつけるのが一番ですが、言葉が話せないワンちゃん、ネコちゃんだからこそ万が一に備えて対策を考えておくのも、飼い主の務めだと思います。

フィラリア 予防シーズンがやってきました!!



こんにちは。だんだんと暖かくなり過ごしやすい季節になりましたね！
フィラリアを媒介する蚊は気温が15℃以上になると活動を始めるといわれています。
フィラリア症は防げる病気です！しっかりと予防してわんちゃん・ねこちゃんをフィラリア症から守りましょう！



メディカルセンター
看護師
担当：渡邊 安奈

フィラリア症とは？

フィラリアの幼虫を持った蚊が犬・猫を刺すと、その幼虫が体内へ侵入します。幼虫は皮膚や筋肉の中で成長し、心臓や肺動脈に移動して最大30cmにもなる成虫になります。その結果血液の循環が悪くなり、さまざまな症状が現れます。



主な症状は…

咳が出る 息切れ 元気がない 食欲がない 腹水が溜まる など

予防について

予防薬はフィラリアの侵入を防ぐものではなく、侵入したフィラリアを「駆虫」するものです。薬が効くのは、寄生したフィラリアが皮膚や筋肉で発育している幼虫の間です。フィラリア症予防薬は成虫には効果がありません。そのため定期的に(1ヶ月に1度)予防薬を飲むことが大切です。

予防薬の種類…

チュアブルタイプ

おいしく作られているのでおやつ感覚であげることができます



錠剤タイプ

好き嫌いのある子におすすめ



スポットタイプ (滴下タイプ)

他の寄生虫も一緒に駆虫できます



注射タイプ

一度打つと1年間効きます
投薬を忘れてしまう飼い主さんにおすすめ



予防の前に!!!

必ず感染していないかの検査をしましょう！
感染している状態で薬を飲むとショックなどを起こす場合があります！

猫も予防を！

フィラリアは別名「犬糸状虫」とも呼ぶことからフィラリアに感染するのは犬だけというイメージがあるかもしれませんが、実は猫にも感染します。猫も犬と同様、成虫が心臓や肺の血管に住みつくと咳・息切れ・食欲不振などの症状が現れます。これらの症状は他の病気の症状とも似ているためフィラリア症の発見が遅れてしまう事もあります。発見が遅れた場合、症状が進行してしまい突然死してしまうことも…そんなことになってしまう前にしっかりと予防しましょう！
フィラリア症は予防することのできる病気です！
ノミやダニなどと一緒に駆虫できるスポットタイプの予防薬で予防しましょう！！



皮膚の病気

こんにちは。暖かくなり、お散歩に行くのが気持ち良い時期になって来ました。
皮膚の病気が増える季節でもありますので初期の治療や毎日のケアが非常に大切です。
今回は、暖かくなってくると増える病気と皮膚のスキンケアについてお話します。



メディカルセンター
獣医師
担当：藤永 洋平

暖かくなってくると多くなる皮膚の病気



細菌性膿皮症



アトピー性皮膚炎



ノミアレルギー性皮膚炎



外耳道炎

皮膚のスキンケア

● シャンプー

その皮膚の状態にあったシャンプーを選び皮膚を傷つけないよう洗います。
シャンプーを付けてから洗うのではなく、泡立てた泡で洗ってあげてください。
シャンプーの温度は私達が体を洗うより少し低めの温度で洗います。
乾かす際はタオルドライを入念に行ってドライヤーは冷風で乾かしてあげましょう。

● 保湿

わんちゃんの皮膚は私達の皮膚に比べ薄く、弱く、ちょうど人の赤ちゃんのような皮膚だと言われています。そのため健康な子もシャンプーのあとに保湿が必要です。
また以下の子はより多くの保湿が必要となります。
フケの多い子、脂っこい皮膚の子、アトピーのある子、細菌の感染を起こしやすい子。

● サプリメント

皮膚が薄い、毛が少ない子などは皮膚に必要な脂肪酸やビタミンが不足している場合があります。その場合サプリメントで補うことにより良化することがあります。健康な子についても毛艶をよくするために使用することがあります。

● ノミ・ダニ予防

この時期お外に出るとノミ・ダニに多く出会います。
ノミ・ダニに寄生されると強い痒みがでます。またノミ・ダニを介して人に感染する疾患も多いので、しっかりと予防していきましょう。

